# 徹底的な「事前防災」を推進するための新たなコミュニケーションデザイン：「意識・知識」を経由しない行動喚起手法

（資料3）

**いつも**　　**もしも**

**これまで**

意識啓発
知識普及

→ 若干疑問 →

防災意識
防災知識

（コレ曲者）

→ 相当疑問 →

主体的な
防災準備
防災行動

6割ＯＫ
一定の成果

---

**フェーズフリー**

不要

→ オートで発現 →

喜んでする
楽しいこと
お得なこと

＝ 直結 ＝

無意識の
防災準備
防災行動

フェーズフリー（いつでも防災）＝テーマフリー（なんでも防災）＝サイトフリー（どこでも防災）＝エージェントフリー（だれもが防災）＝ディヴィジョンフリー（部局超えて防災）

「毎朝みなさんが近所の児童公園でやっているペット集会」－それって防災です（近所の知人が一番の防災リソースだから）

「防災課・福祉課と介護業者連携で廃校で毎週実施のリハビリ教室」－それって防災です（動ける体が一番の防災グッズだから）

「脱炭素施策で実施中の小中学校へのＰＶ設置とＥＶ公用車の導入」－それって防災です（それこそが孤立・停電対策だから）

「（この部分の新作・発明・発見）」－新たな価値創造、新ビジネス創出、産官学民連携や府省庁横断の新たなカタチ……

---

**非意識系アプローチ（含ナッジ）**

**法制・税制（regulation）**
シートベルト罰則／地震保険

**環境・状況（environment）**
不便な喫煙所／双眼鏡@タワー、計画運休

**対人・社会（inter-person）**
保健師訪問・日常の対話／津波てんでんこ

→ ともかく発現 →

余儀ない
防災準備
防災行動

100%を目指して
KPI必要

ゴールは防災準備・行動のはず。しかも、それは高い意識・深い知識という「お行儀のいい」ルートだけから生じるわけではない。「無意識に」「余儀なく」という経路からでもゴールに到達できる。